

歯内療法学・歯周病学実習Ⅰ

責任者名：佐藤 秀一

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

石山 未紗(小児歯科学 助教)

武井 浩樹(小児歯科学 兼任講師)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)

清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)

勝呂 尚(歯科保存学Ⅱ 専任講師)

鈴木 裕介(歯科保存学Ⅱ 助教)

安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)

大原 絹代(歯科保存学Ⅱ 助教)

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)

西田 哲也(歯科保存学Ⅲ 専任講師)

高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)

蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 専任講師)

間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯内治療および歯周治療を実践するために必要な基本的臨床手技をシミュレーション実習を通して修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ①適切な身だしなみ、言葉遣いおよび態度で医療面接を実施できる。
- ②安全、清潔、感染予防に配慮した行動ができる。
- ③乳歯の歯髄切断法を実施できる。
- ④歯髄・根尖性歯周疾患の検査、診断および治療が実施できる。
- ⑤歯周疾患の検査、診断および治療が実施できる。

◆評価方法

各実習の実習成果および実技試験の結果で評価する (100%)。歯内・歯周・小児の配点は実習回数に応じて配分する (5 : 7 : 3)。実技試験の結果はその場でフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
佐藤 秀一	金曜日 17:00~18:00 歯科保存学Ⅲ教授室（本館 6 階）	satou.shuuichi@nihon-u.ac.jp 03-3219-8097	
白川 哲夫	月曜日 17:00~18:00 小児歯科教授室（本館 6 階）	shirakawa.tetsuo@nihon-u.ac.jp 03-3219-8096	
武市 収	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学Ⅱ教授室（本館 6 階）	takeichi.osamu@nihon-u.ac.jp 03-3219-8132	

◆授業の方法

毎回の実習の内容を教科書（実習要綱）で把握してください。実習では動画の提示、実演、実技指導等により理解を深めてもらいます。実習後に定期的に復習をすることにより、OSCE や翌年の臨床実習に備えてください。

【実務経験】佐藤秀一、白川哲夫、武市収：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院での臨床経験を活かし、関連する歯科医学の知識の確認も行いながら、本実習で学ぶ内容の実技指導を行います。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	小児歯科学基礎・臨床実習 第 3 版	白川哲夫、朝田芳信、苅部洋行、木本茂成、清水武彦、牧憲司編	医歯薬出版	2021
教科書 2	歯内療法学実習要綱：基礎実習編	日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座編		2022
教科書 3	歯周病学実習要綱	日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座編		2021
参考書 1	エンドドンティックス第 6 版	興地隆史，石井信之，林美加子，北村知昭編	永末書店	2022
参考書 2	歯内治療学 第 5 版	中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史編	医歯薬出版	2018
参考書 3	ペリオドンタルインスツルメンテーション	勝山茂、伊藤公一監訳	医歯薬出版	1997
参考書 4	歯周治療の指針 2015	日本歯周病学会編	医歯薬出版、日本歯周病学会ホームページ	2016

			ジよりダウンロード可	
参考書 5	臨床歯周病学 第3版	村上伸也、申基喆	医歯薬出版	2020

◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報をもとに、倫理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習は実習要綱をよく読んで、実習内容と関連している講義内容の理解を深めておくこと。また、実習要綱や事前配布資料等を確認し、器材等漏れのないように実習準備を行うこと。復習はその日に行った実習内容を再確認し理解を深める。

◆準備学習時間

各回ごとに1時間程度を予習と復習に充てる。

◆全学年を通しての関連教科

Introduction to Medical and Dental Topics (1学年前期)

運動器 (2学年前期)

神経 (2学年前期)

内臓 (2学年前期)

脈管・感覚器 (2学年前期)

組織学 (2学年前期)

知の構築技法 (2学年前期)

口腔組織学 (2学年後期)

口腔組織実習 (2学年後期)

発生学 (2学年後期)

口腔生理学 (2学年後期)

口腔生化学 (2学年後期)

微生物の基本操作 (3学年前期)

歯科放射線学総論 (3学年前期)

口腔衛生学 (3学年前期)

Approaches to Basic Research (3学年前期)

病原微生物と感染症 (3学年後期)

薬理学総論（3 学年後期）
 衛生学実習（3 学年後期）
 小児の歯科診療の基礎（3 学年後期）
 臨床口腔病理（3 学年後期）
 臨床口腔病理実習（3 学年後期）
 炎症と臨床検査（3 学年後期）
 歯科学統合演習Ⅳ（4 学年通年）
 歯周病学（4 学年前期）
 歯内療法学（4 学年前期）
 歯科放射線学各論（4 学年前期）
 アドバンスト歯内療法学・歯周病学（4 学年後期）
 歯内療法学実習Ⅱ（4 学年後期）
 歯周病学実習Ⅱ（4 学年後期）
 専門総合特別講義Ⅲ（4 学年後期）
 歯科学統合演習Ⅴ（5 学年通年）
 臨床実習（5 学年通年）
 POS 型医療の構築（5 学年前期）
 臨床推論の構築（5 学年後期）
 臨床実習アドバンスト（6 学年前期）
 症例演習（6 学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵa（6 学年前期）
 専門総合特別講義Ⅰ（6 学年前期）
 歯科学統合演習Ⅵb（6 学年後期）
 専門総合特別講義Ⅱ（6 学年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3	B 班 A 班	4.1 4.1	1 ～ 3 6 ～ 8	歯内療法学実習 1. オリエンテー ション 1)実習についての 説明 2)器具点検 3)第5・6・7回実 習説明 4)理解度チェック についての説明 (教2) pp.1-19	・歯内療法で頻用する器具・薬剤の 取り扱いがでできる。	武市 収 林 誠 清水 康平 勝呂 尚 鈴木 裕介 安川 拓也 大原 絹代 紙本 篤	E-3-3)-(2) 歯 髓・根尖性歯 周疾患の診断 と治療
4 ～	B 班 A 班	4.8 4.8	1 ～	2. 歯髓疾患の診 査・診断法	・歯髓電気診・温度診が実施でき る。	歯内療法	E-3-3)-(2) 歯 髓・根尖性歯

6			3 6 ~ 8	1) 歯髄電気診断法 2) 温度診 3) エックス線写真 読像法 4) 理解度チェック (教2) pp.5-9 (参1) pp.67-84	・ 歯内療法に必要なエックス線写真の読像ができる。		周疾患の診断と治療 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
7 ~ 9	B 班 A 班	4.15 4.15	1 ~ 3 6 ~ 8	3. 歯髄鎮痛消炎療法(透明根管模型) 4. 各種セメントの練和法・混和法 1) セメントの練和法 2) セメントの混和法 3) 理解度チェック (教2) pp.10-15 (参1) pp.103-106	・ 初期齲蝕, 急性症状を有する歯髄疾患に対する歯髄鎮痛消炎療法を, 透明根管模型(大白歯)を用いて実施できる。 ・ 歯内療法治療で頻用される各種薬剤・セメント類の選択、練和、混和法が実施できる。	歯内療法	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
10 ~ 12	B 班 A 班	4.22 4.22	1 ~ 3 6 ~ 8	5. 歯髄保存療法 1) 覆髄法(透明根管模型) 2) 覆髄法(マネキン用顎模型) 3) 理解度チェック (教2) pp.16-19 (参1) pp.106-111	・ 歯髄保存療法である覆髄法(直接法と間接法)の治療術式を実施できる。 ・ 本実習では間接覆髄法を行うが, 露髄した際は直接覆髄法に移行する事ができる。	歯内療法	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療
13 ~ 15	B 班 A 班	5.6 5.6	1 ~ 3 6 ~ 8	6. 実習全般の実習試験およびフィードバック 1) 実習試験 2) フィードバック	・ 実習全般(歯内療法分野)に関する試験により, 実習内容の理解を深める。 ・ 試験実施後はフィードバックを行い, 理解を深める。	歯内療法	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
16	B 班	5.13	1	歯周病学実習	・ 歯周病学実習の方針と注意事項を	吉沼 直人	F-1-2) 医療安

～ 18	A 班	5.13	～ 3 6 ～ 8	1. オリエンテーション 2. 器具点検 3. 歯周組織検査 基礎 1 (教 3) pp.1-15, 36, 37 (参 2) pp.26, 27	説明できる。 ・歯周治療模型上での病変部の形態を説明できる。	佐藤 秀一 菅野 直之 西田 哲也 高山 忠裕 蓮池 聡 間中 総一郎	全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
19 ～ 21	B 班 A 班	5.20 5.20	1 ～ 3 6 ～ 8	4. 歯周組織検査 基礎 2 (教 3) pp.17-46 (参 2) pp.5-106	・プローブの特徴を説明できる。 ・正しいプロービングの方法を実施できる。 ・実習前に理解度チェックおよびフィードバックを行い、実習内容の理解を深める。	歯周病	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
22 ～ 24	B 班 A 班	5.27 5.27	1 ～ 3 6 ～ 8	5. 歯周組織検査 (教 3) pp.17-46 (参 2) pp.5-106	・歯周組織チャートへの記入を実施できる。 ・実習前に理解度チェックおよびフィードバックを行い、実習内容の理解を深める。	佐藤 秀一 菅野 直之 吉沼 直人 西田 哲也 高山 忠裕 間中 総一郎	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
25 ～ 27	B 班 A 班	6.3 6.3	1 ～ 3 6 ～ 8	歯周病学実習理解 度試験	・ここまでの歯周病学実習の履修項目に対する理解度チェックおよびフィードバックを行い、実習内容の理解を深める。	吉沼 直人	F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 F-2-1) 医療面接 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

28 ～ 30	B班 A班	6.10 6.10	1 ～ 3 6 ～ 8	6. 咬合分析 7. エックス線検査 (教3) pp.47-55 (参2) pp.61-71	・スタディキャストの所見を参考とし、歯周病患者の口腔内の自覚症状、習癖、顎運動の状態を説明できる。 ・エックス線写真で歯と骨の関係を説明できる。	歯周病	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-2-1) 医療面接 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
31 ～ 33	B班 A班	6.17 6.17	1 ～ 3 6 ～ 8	8. 診断 9. 治療計画立案 (教3) pp.56-63 (参2) pp.277-285	・臨床所見、口腔外、すなわち頭頸部、顔面の病変あるいは異常と口腔内、特に歯周組織検査、咬合分析、エックス線検査をもとに、総合的な診断と治療計画の立案が実施できる。	歯周病	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
34 ～ 36	B班 A班	6.24 6.24	1 ～ 3 6 ～ 8	10. プラークコントロール (教3) pp.64-68 (参2) p.69	・プラークコントロールレコードの記録や口腔清掃器具の正しい使用法を説明できる。 ・患者に対するプラークコントロールプログラムと指導を実施できる。	歯周病	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
37 ～ 39	B班 A班	7.1 7.1	1 ～ 3	小児歯科学実習 1. 乳歯の歯髄炎の治療法（講義）	・乳歯において生活歯髄切断法が多用される理由を説明できる。 ・生活歯髄切断法の適応症、禁忌	小児歯科	E-4-2) 小児の歯科治療

			6 ～ 8	2. 乳歯の生活歯 髓切断法（1） 1)実習説明 2)ラバーダム防湿 3)齶窩の開拡（露 髓まで） （教1）pp.40-44, 186-187	症，器具，材料の滅菌の考え方を説 明できる。 ・ 歯髓切断の術式を実施できる。		
40 ～ 42	B 班 A 班	7.8 7.8	1 ～ 3 6 ～ 8	3. 乳歯の生活歯 髓切断法（2） 4)天蓋の除去 5)冠部歯髓の除去 6)根部歯髓の切断 7)糊剤の貼付 8)裏層・支台築造 （教1）pp.40-44, 186-187	・ 乳歯の生活歯髓切断に使用する薬 剤の性質，性状，操作法を説明でき る。 ・ 歯冠部歯髓を除去した歯の支台築 造，歯冠修復の必要性とその材料に ついて説明できる。 ・ 歯髓切断の術式を実施できる。 ・ 支台築造した歯の高径の調整方法 を実施できる。	小児歯科	E-4-2) 小児の 歯科治療
43 ～ 45	B 班 A 班	7.15 7.15	1 ～ 3 6 ～ 8	3. 乳歯の生活歯 髓切断法の実習の 総括	・ 歯髓切断の術式を実施できる。 ・ 総括として実習試験を行い，その フィードバックにより 理解度を深 める。	小児歯科	E-4-2) 小児の 歯科治療

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
小児歯科	2007	高森 一乗
	2292	武井 浩樹
	2675	石山 未紗
	1537	白川 哲夫
歯内療法	1151	武市 収
	1204	林 誠
	1241	勝呂 尚
	1803	清水 康平
	2651	大原 絹代
	2968	安川 拓也
	3084	鈴木 裕介
	950	吉沼 直人
歯周病	998	佐藤 秀一
	1065	菅野 直之
	1169	西田 哲也
	1569	高山 忠裕
	2298	蓮池 聡
	2700	間中 総一郎

